

# 2022年3月期【第2四半期】 決算説明資料

2021年11月12日



# 目次

1. エグゼクティブサマリ P.3
2. 第2四半期決算概況 P.7
3. 業績見通し P.17
4. 成長戦略 P.20
5. ソフトウェア事業環境と当社の優位性 P.31
6. 第2四半期決算補足 P.36
7. 会社概要 P.39

## 2Q時点で過去最高となる売上高**30億円**を突破！

売上高

**30.0**億円

前年同期比 +24.5%

営業利益

**0.4**億円

▲65.3%

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

**0.3**億円

▲57.4%

稼働エンジニア数

**865**名

前年同期比 +177名

案件数

**1,554**件

+363件

単価

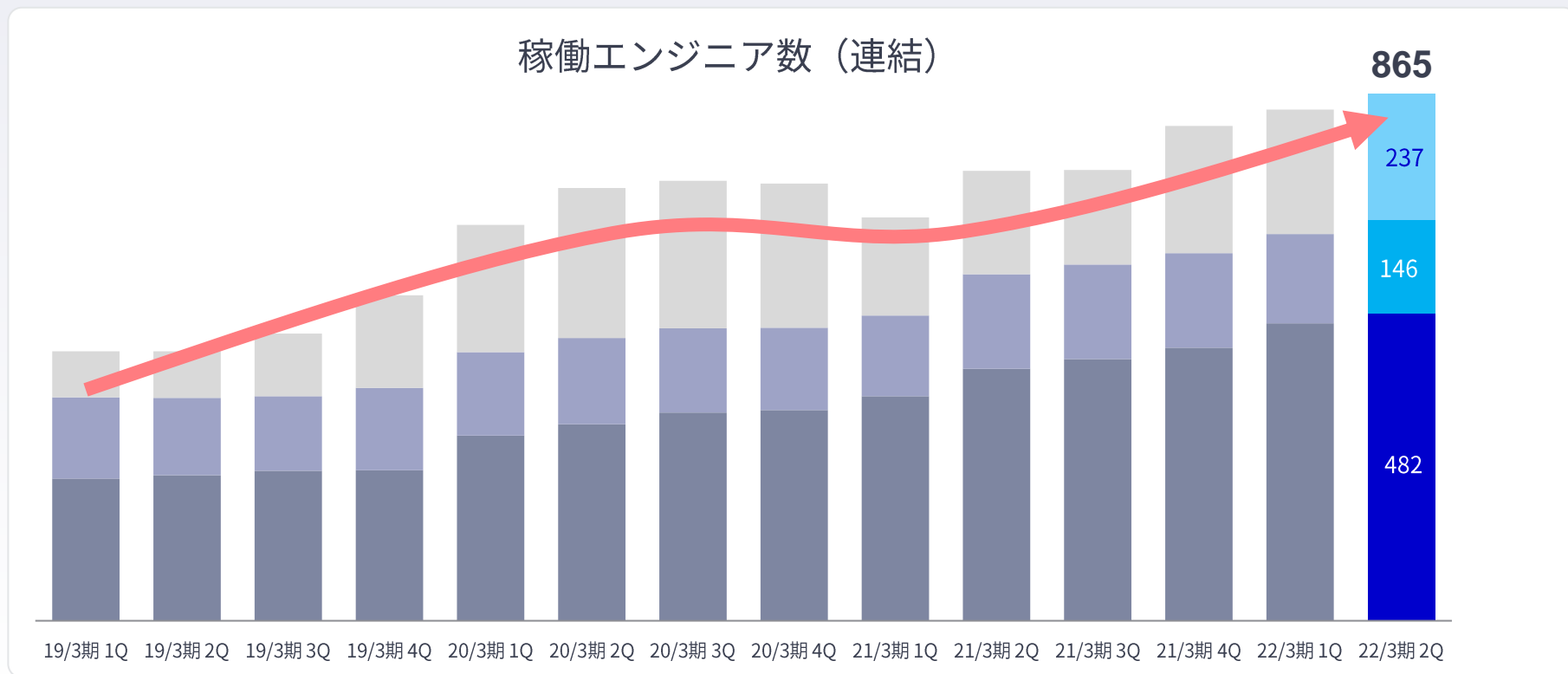
**666**千円

+2千円

### 2Q以降のトピックス

- ・エンジニア数は**850名**を突破
- ・案件数、単価ともに2Q時点で過去最高
- ・将来を見据え、テスト自動化ツール「**T-DASH**」OPENβ版をローンチ
- ・**自己株式の取得**を決定
- ・**SDGs**推進融資を実施

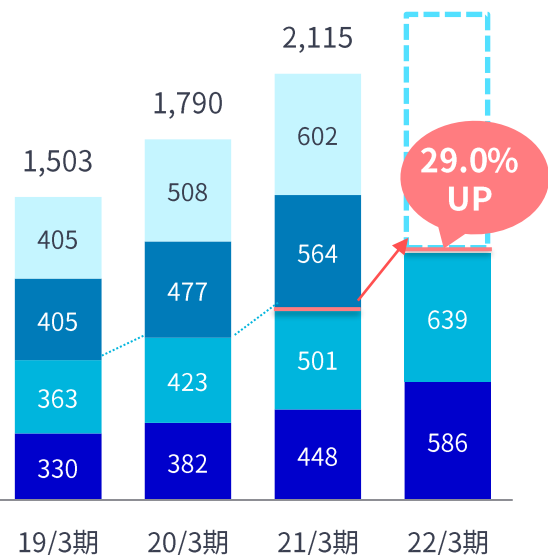
## グループ全体のエンジニア数は**850名**を突破！



## テストサービス事業を中心に、**3セグメント**とも前年同期比で増加

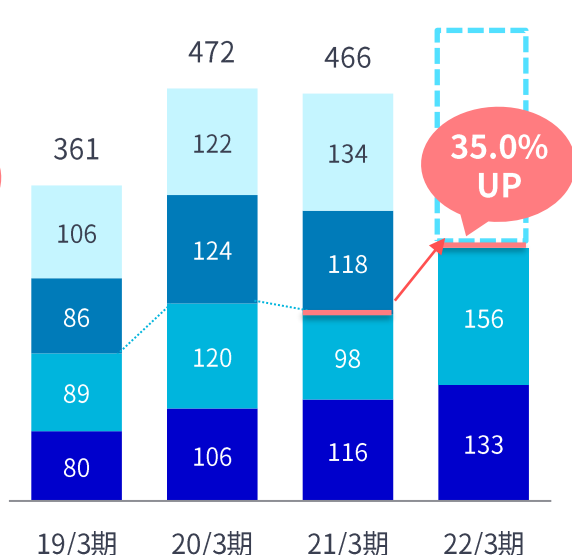
### ソフトウェアテストサービス事業

(単位：件)



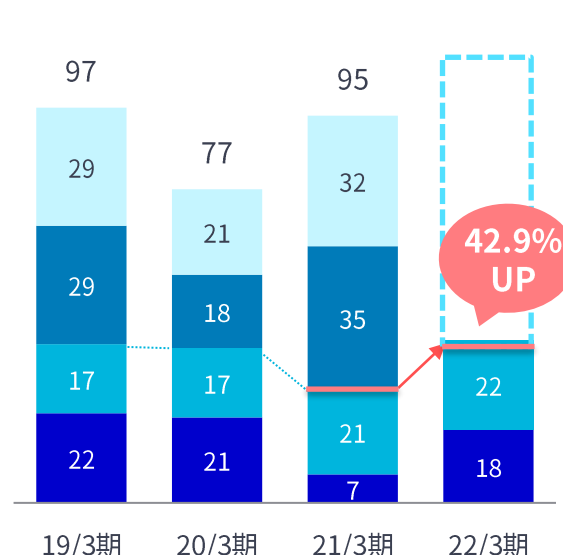
### Web/モバイルアプリ開発サービス事業

(単位：件)



### オフショアサービス事業

(単位：件)



■1Q ■2Q ■3Q ■4Q

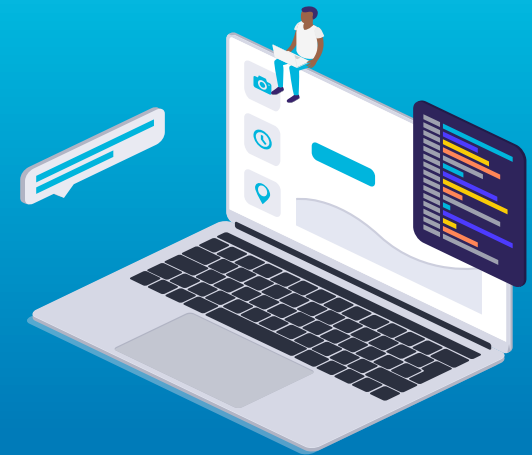
# 案件数、単価、稼働人員数がいずれも第2四半期で過去最高



**22年3月期の業績達成に向け、基盤が整う**

※1単価 (月間) = ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数 (正社員+契約社員+ビジネスパートナー)  
 ※2ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

# 第2四半期決算概況



2Q時点で過去最高となる売上高**30億円**を突破！

(単位：百万円)

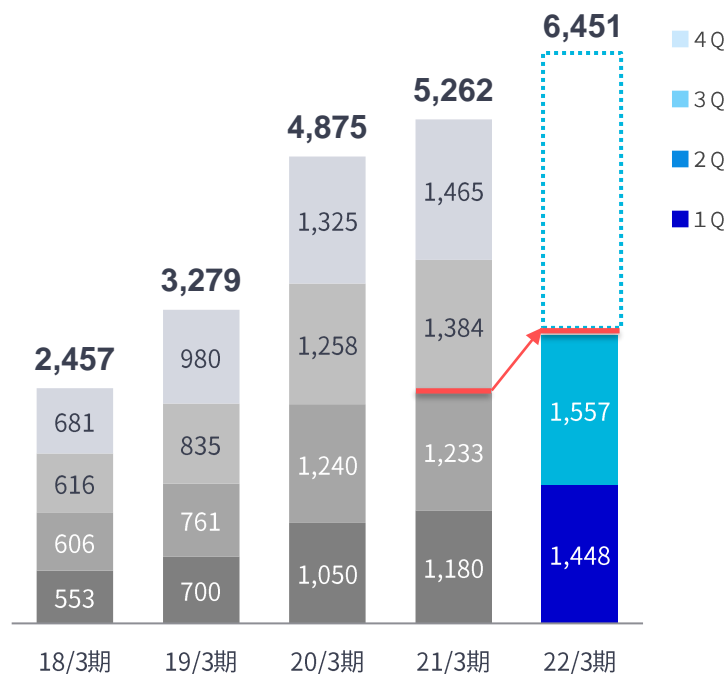
	FY2021 2Q	FY2022 2Q	増減額	増減率
売上高	2,413	3,005	+592	24.5%
営業利益	136	47	-89	-65.3%
経常利益	138	48	-89	-64.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87	37	-50	-57.4%
1株当たり 四半期純利益 (円)	12.60	5.36		



# ソフトウェアサービス事業を中心に増収

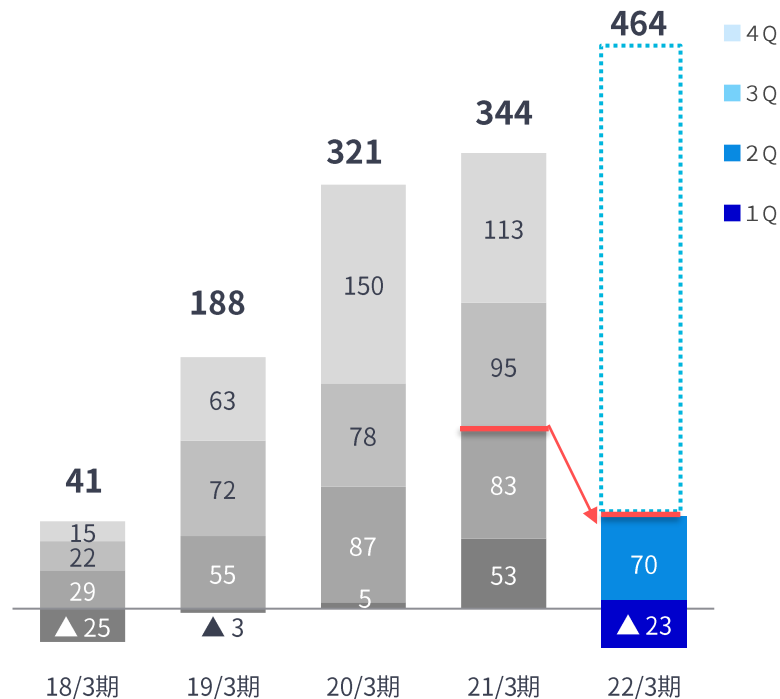
売上高

(単位：百万円)

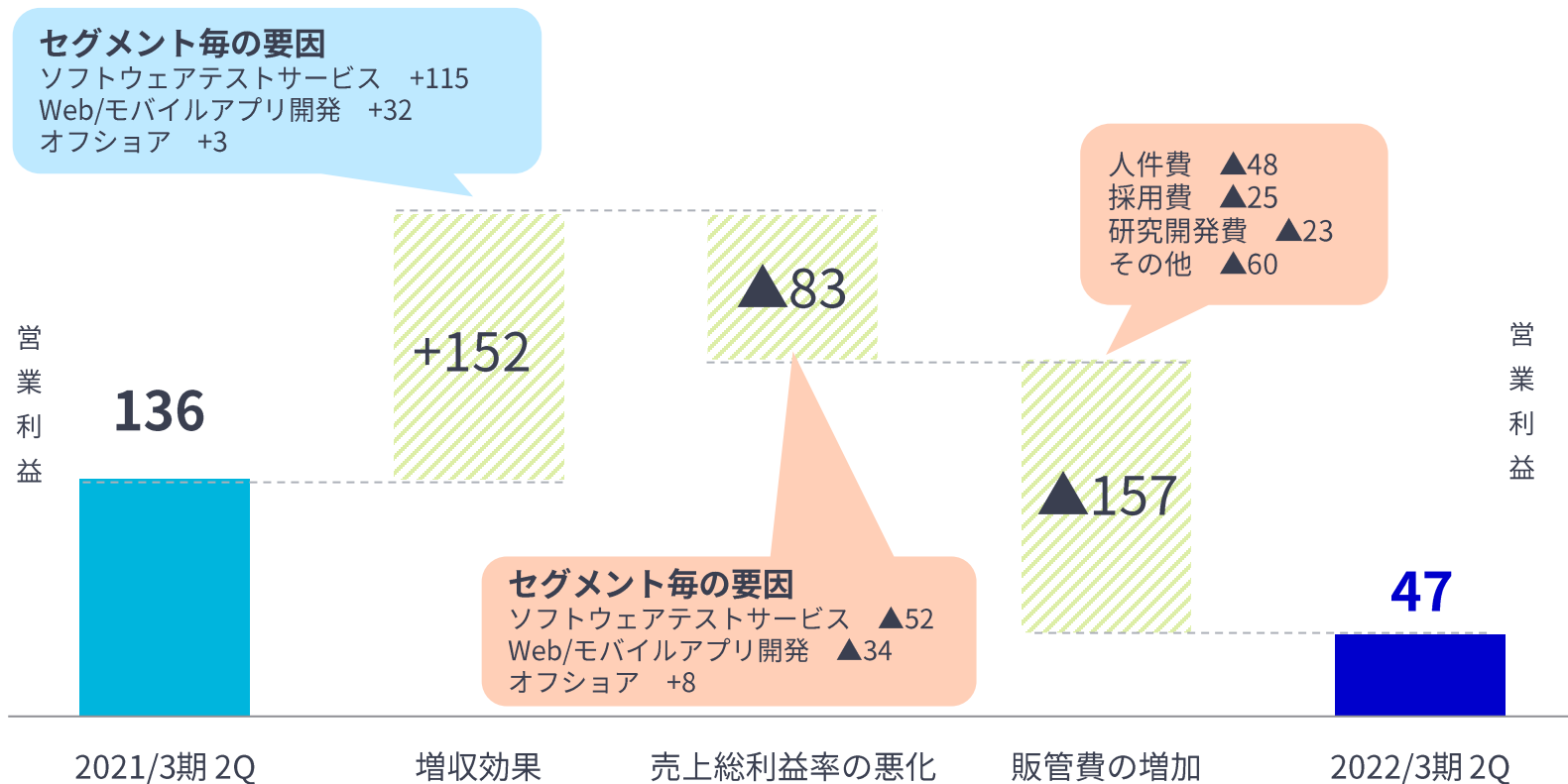


営業利益

(単位：百万円)



(単位：百万円)



連結販管費内訳	FY2021 2Q	FY2022 2Q		
	(百万円)	(百万円)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
販管費	483	640	+157	+32.6%
人件費	222	270	+48	+21.7%
採用費	78	103	+25	+32.3%
研究開発費	26	50	+23	+87.4%
その他	155	216	+60	+39.0%

人件費 +48 →営業および管理体制強化に伴う人数増加  
 採用費 +25 →採用数増に伴う増加  
 研究開発費 +23 →T-DASH（ソフトウェアテスト自動化ツール）等の新規サービス開発に対する先行投資  
 その他 +60 →販促ツールや新基幹システムに係る償却費の増加、人数増加に伴うインフラ費用の増加、PR費用の増加 等

連結正社員入社人数 (エンジニア+販管部門)	FY2021 2Q	FY2022 2Q		
	(名)	(名)	前年同期比増減 (名)	前年同期比 (名)
総数 (うちエンジニア)	85 (76)	108 (91)	+23 (+15)	+27.1% (+19.7%)

		FY2021 2Q	FY2022 2Q	
		前期実績	実績	前期比
ソフトウェアテスト サービス事業	売上高	2,238	<b>2,698</b>	+20.5%
	営業利益	155	<b>98</b>	▲36.7%
	利益率	7.0%	<b>3.7%</b>	▲3.3pt
	エンジニア1人当たりの売上高(千円)	664千円	<b>666千円</b>	+2千円
Web/モバイルアプリ開発 サービス事業	売上高	205	<b>363</b>	+76.7%
	営業利益	23	<b>▲24</b>	-
	利益率	11.2%	-	-
オフショアサービス事業	売上高	14	<b>43</b>	+198.4%
	営業利益	▲4	<b>9</b>	-
	利益率	-	<b>21.3%</b>	-
セグメント間取引消去 および全社費用	売上高	▲45	<b>▲100</b>	-
	営業利益	▲38	<b>▲36</b>	-
連結	売上高	2,413	<b>3,005</b>	+24.5%
	営業利益	136	<b>47</b>	▲65.3%
	利益率	5.6%	<b>1.6%</b>	▲4.0pt

※エンジニア1人当たりの売上高（月間）＝ ソフトウェアテストセグメントの売上高 ÷ エンジニア数の延べ人数（正社員+契約社員+ビジネスパートナー）

## ソフトウェアテストサービス事業

- 各社の大型案件に対し、**上流工程**や**PMO**からさらなる参画を狙い、下期、来期への売上拡大へ
- **金融系・公共系・大型ECサイト企業**など、ターゲット企業からの拡大を見込む
- **ソフトウェアテスト自動化ツール**の稼働で、エンジニア不足を解消へ、今後は付加価値向上により収益化に
- **当社のテスト・品質向上手法**を身に付けた社員で安定したプロジェクト品質を維持し、**ビジネスパートナー活用**により、案件ボリューム拡大へ

## Web/モバイルアプリ開発サービス事業

---

- **脆弱性診断を中心としたセキュリティ需要を取り込み売上拡大へ**
- **管理体制を強化し、不採算案件の再発を防止へ**
- **VR・AR技術を積極展開、高単価、競合少の市場で下期挽回へ**

## オフショアサービス事業

---

- **日本企業との取引拡大により各四半期で安定した売上へ**
- **ロックダウン状況下でもテレワークにより安定稼働**
- **受注好調で、来期の案件増加を見越し、オフィスを増床へ**

## 自己株式の取得

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	160,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.3%）
株式の取得価額の総額	200,000,000円（上限）
取得期間	2021年11月15日～2022年2月28日
取得方法	市場買い付け

当社は、成長のための事業投資に取り組むとともに、株主還元施策についても積極的に取り組んでまいります。

## SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断され、SDGs推進融資が実施されました

### ①ソフトウェアテストサービスを通じたシステム開発の効率化、品質向上への貢献

8

働きがいも  
経済成長も



8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

9

産業と技術革新の  
基盤をつくらう



9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

### ②情報提供プラットフォームの運営やセミナー開催によるIT人材育成への貢献

4

質の高い教育を  
みんなに



4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

8

働きがいも  
経済成長も



8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。



詳しくは10/29の  
弊社プレスリリースをご覧ください。



# 業績見通し



成長戦略の更なる強化により、**売上、利益続伸へ**

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022	増減額	増減率
売上高	5,262	<b>6,451</b>	+1,189	22.5%
営業利益	344	<b>464</b>	+120	34.8%
経常利益	347	<b>468</b>	+121	34.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	246	<b>305</b>	+59	23.7%
1株当たり 四半期純利益 (円)	35.65	<b>44.16</b>		

## ■ 【傾向】

ソフトウェアテストサービスは、その提供対象となる顧客のサービス・製品などのリリースが下半期となることが多く、  
当社グループの売上高及び利益についても下半期に偏重する傾向

※案件数、単価、稼働人員数が四半期を追うごとに増加

## ■ 【解消】

上半期の不採算案件は9月末で終了。下半期の業績に与える影響は無し

※同様の事象が発生しないように管理面の強化を上半期に実施済

## ■ 【原価】

上半期に採用したエンジニアが下半期で売上・利益に貢献

※案件へのアサインが完了し、今後経験を重ねることで単価UPへ

## ■ 【販管費】

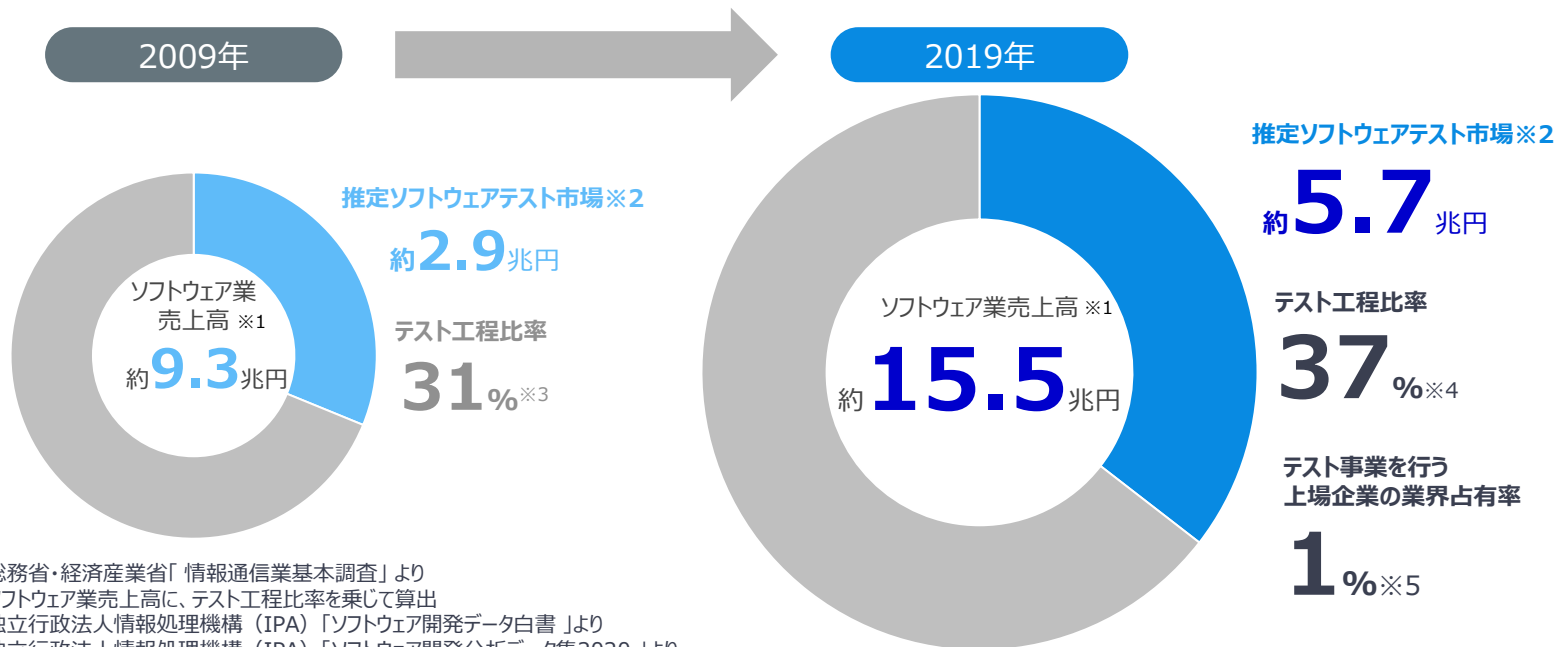
上半期は積極的な投資、下半期は販管費の抑制を実施

# 成長戦略



# 当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は約**5.7兆円**

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より  
 ※2 ソフトウェア業売上高に、テスト工程比率を乗じて算出  
 ※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より  
 ※4 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より  
 ※5 テスト・デバック事業をメインとする上場企業の売上合計より

## ターゲット業界の高いCAGR、ソフトウェアテスト市場も**CAGR12.4%**

		市場規模		CAGR	出所	
	エンタープライズIT	国内	2024年	12.8兆円	3.4%	IDC Japan 国内エンタープライズIT市場予測
	AI	国内	2025年	4,910億円	25.5%	IDC Japan 国内AIシステム市場予測
	Web/eCommerce	世界	2024年	4.9兆ドル	20.7%	出所：eMarketer, Dec2016 経済産業省「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備」（電子商取引に関する市場調査） 世界のBtoC電子商取引市場規模の推移
	IoT	国内	2025年	10.2兆円	10.1%	IDC Japan 国内IoT市場 支出額予測
	スマート自動車/自動運転	国内	2025年	1.9兆円	19.5%	矢野経済研究所 国内コネクテッドカー関連市場規模推移と予測
	スマート家電	世界	2024年	316.6億ドル	16.0%	Technavio Smart Home Appliances Market by Product, Distribution Channel, and Geography - Forecast and Analysis 2020-2024

その他、国内外のソフトウェアテストが関係する業界の市場規模を合わせ、世界全体での可能性

	ソフトウェアテスト	世界	2025年	344.9億ドル	12.4%	Technavio Software Testing Services Market by Product, Geography, and End-user - Forecast and Analysis 2021-2025
--	-----------	----	-------	----------	-------	---

## ソフトウェアテスト市場の高い成長

優秀な人材の確保と  
研修・戦力化



正社員

エンジニア採用数

**91**名

(FY2022 2Q時点)

新規技術の開発への  
積極投資



テスト自動化ツール



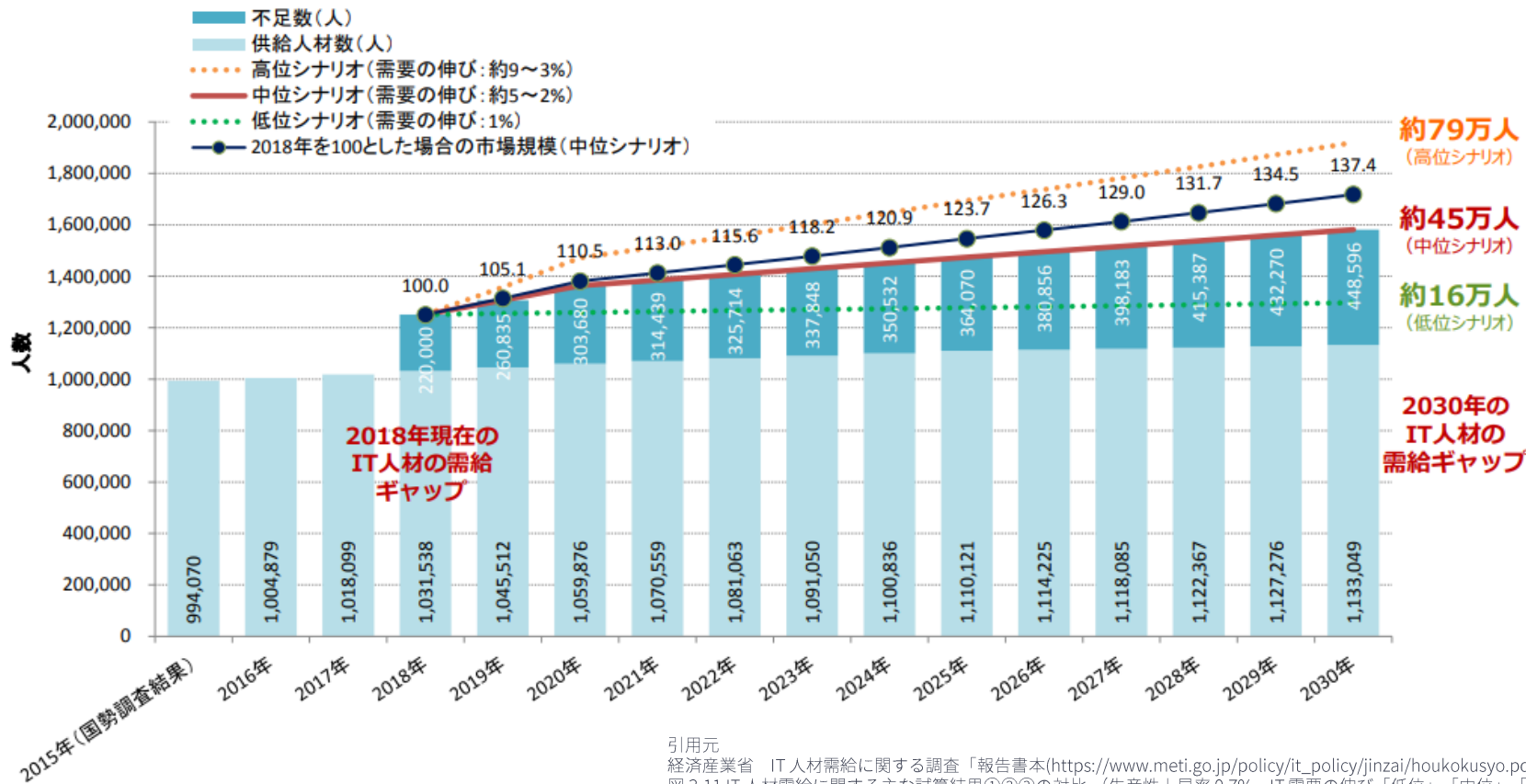
11/1 OPENβをローンチ

グループシナジー  
の強化



オフショアサービス  
を中心に、  
効果が出始める

# (参考) 今後のIT人材の不足予測に関して



引用元

経済産業省 IT人材需給に関する調査「報告書本([https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/jinzai/houkokusyo.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf))

図3-11 IT人材需給に関する主な試算結果①②③の対比 (生産性上昇率0.7% IT需要の伸び「低位」「中位」「高位」)



## <市場環境>

 最大で**約79万人**のIT人材不足

IT需要が今後拡大する一方で、我が国の労働人口（特に若年人口）は減少が見込まれ、IT人材の需要と供給の差（需給ギャップ）は、2030年には、最大で**約79万人**に拡大する可能性



各企業ますますテストの  
**アウトソース化**の流れへ

新卒  
未経験者



キャリア



オンライン  
教育体制



充実した社内研修システムによる**早期の安定稼働に**  
オンライン研修で**採用数増、高スキル人材の輩出を実現**

320時間

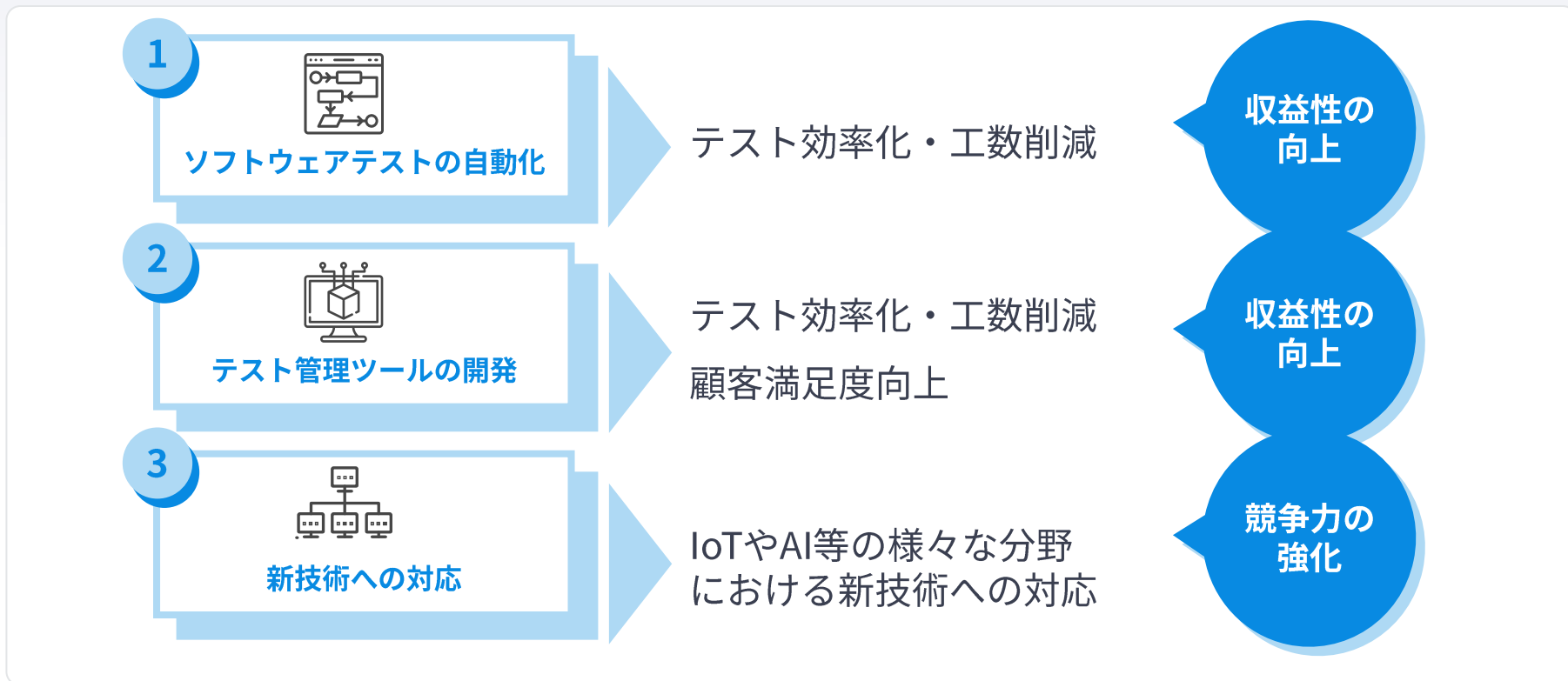
160時間

未経験者でも短期間で  
高スキルエンジニアへ  
育成出来ることが当社の強み

正社員エンジニア採用数

80名 ⇒ 134名 ⇒ 136名 ⇒ 91名  
(19/3期) (20/3期) (21/3期) (22/3期2Q時点)  
上場前 上場後

## 内部留保とのバランスを意識しつつ、新技術の開発に**積極的に投資**



“だれでも””カンタン”に”日本語”でソフトウェアテストを自動化できるツール

## 『T-DASH』 OPENβ版を 11/1に公開



### T-DASHの特長

- ①日本語のテストケースで自動化の実行が可能  
プログラミングも必要なし
- ②テスト回数に制限なし
- ③見やすく操作しやすいダッシュボード

### 期待効果

当社手動テストと比較して

最大 **50%** の工数削減効果

### 当社の狙い

- ・利益率向上
- ・有償化
- ・人材不足解消
- ・事業会社QAの知見の向上
- ・社員のエンゲージメント向上  
(よりクリエイティビティな業務へ移行)

➡ テストを  
当たり前に行う  
世の中の実現へ

# ソフトウェアテストのコンサルタントとして活躍する湯本剛氏と アドバイザー契約を締結



×



## 湯本氏からのコメント

今回、T-DASHのアドバイザー契約を結ばせていただきました。  
機会があってT-DASHの開発チームの方と話をするタイミングあり、  
少し使わせてもらうことになりました。

実際に触ってみると、ツールに込められたバルテスさんの本気を感じ、  
しっかり向かい合うためにもアドバイザーという立場でツール開発に  
携わらせていただくことになりました。

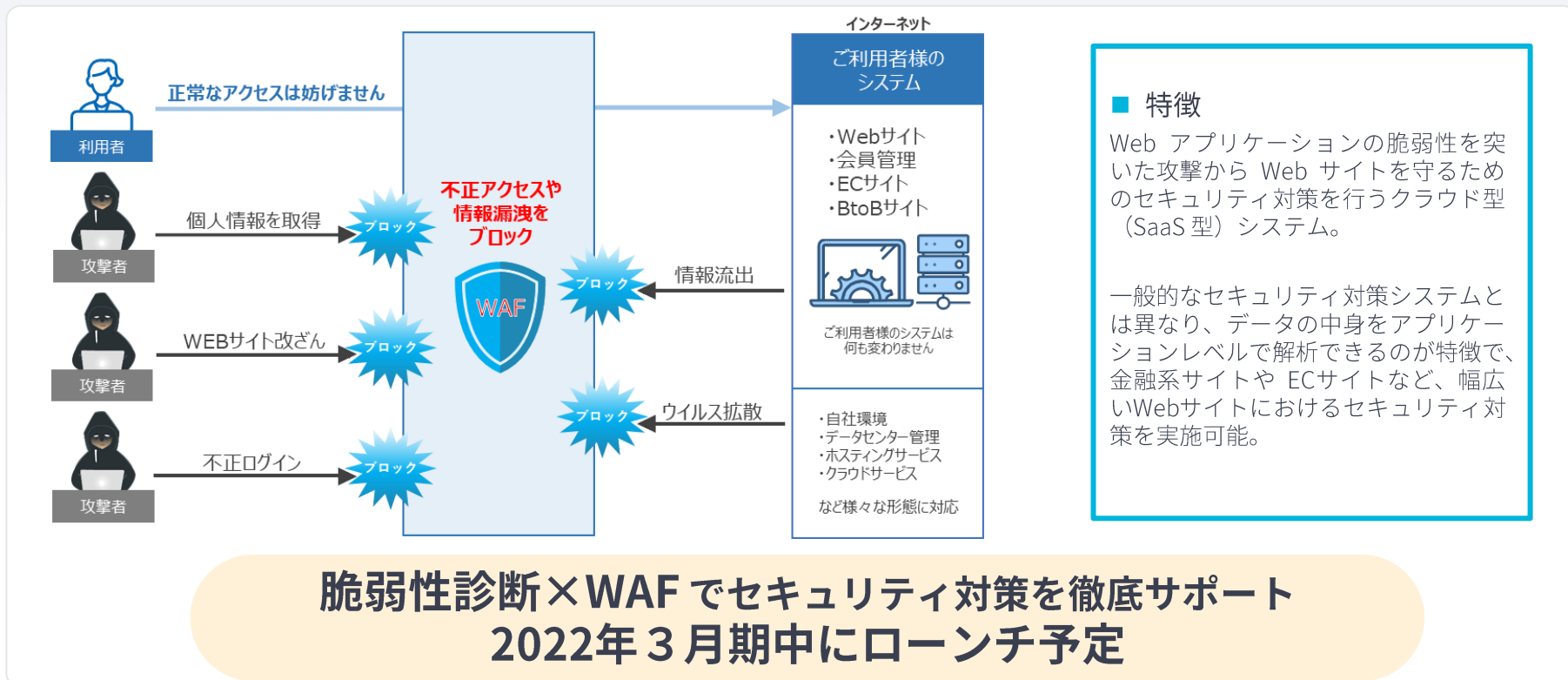
今後、日本のテスト業界にとって、このT-DASHが必ず役立つツールに  
なるようにアドバイスをしていくので、ご期待ください。

### 湯本剛氏プロフィール

工作機器メーカーにて生産管理システムの構築メンバーを経て、テストリーダーとして数多くのアプリケーションの開発に携わる。その後ソフトウェアテストのコンサルタントとしてテストプロセスの改善、テストツールの導入支援、テストの教育などを行い、現在はfreee株式会社にてQAエンジニアとして従事。また、個人事業を行う株式会社tytte Labを創業。NPO法人ASTER理事、ISO/IEC JTC1/SC7 WG26 幹事 (ISO/IEC/IEEE29119 テストプロセス標準の策定)。  
テスト分析手法「ゆもつよメソッド」でも有名。博士 (工学)。

## 既存サービス「セキュリティ・脆弱性診断」で顕在化したリスクへの対応にも有効的なクラウド型（SaaS型）WAF※サービス

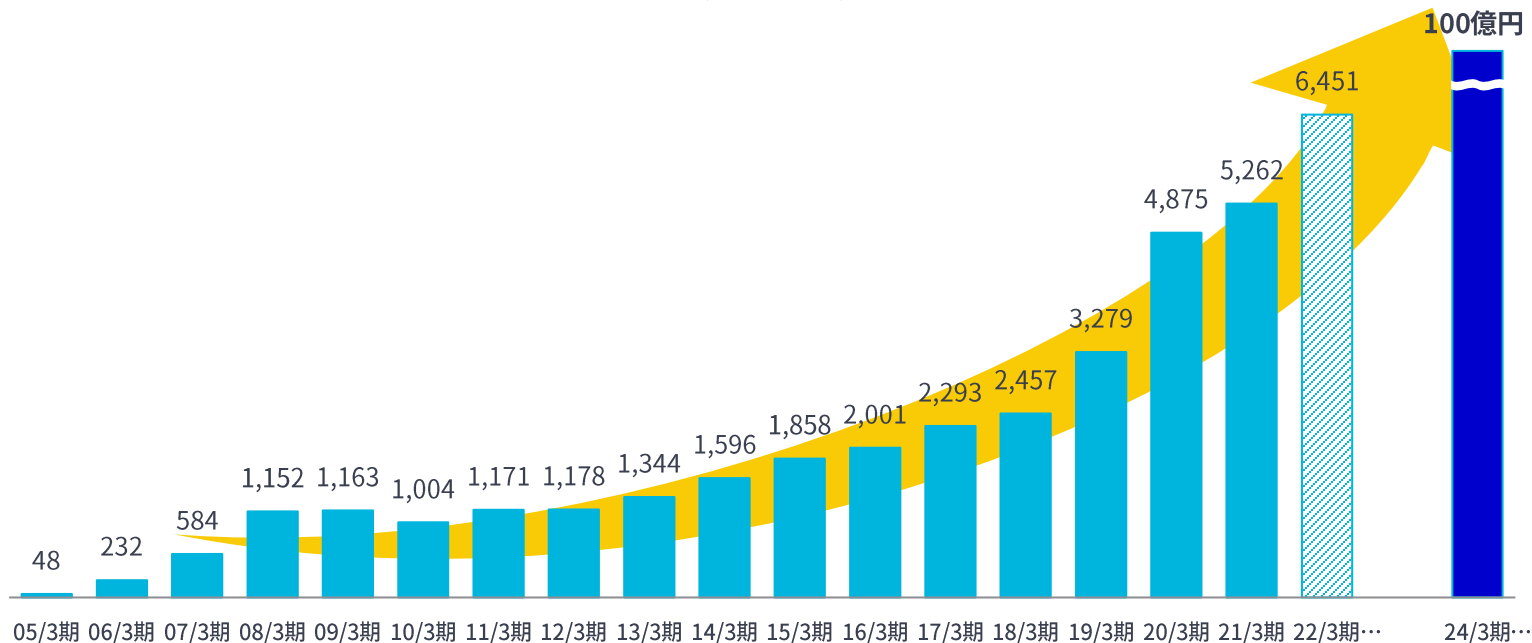
※WAF：Web Application Firewallの略



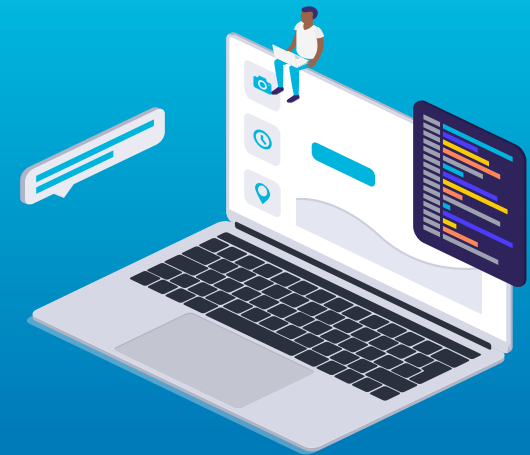
## ソフトウェアテスト市場の成長から、2024/3期に売上高**100億円**を目指す

売上高の推移

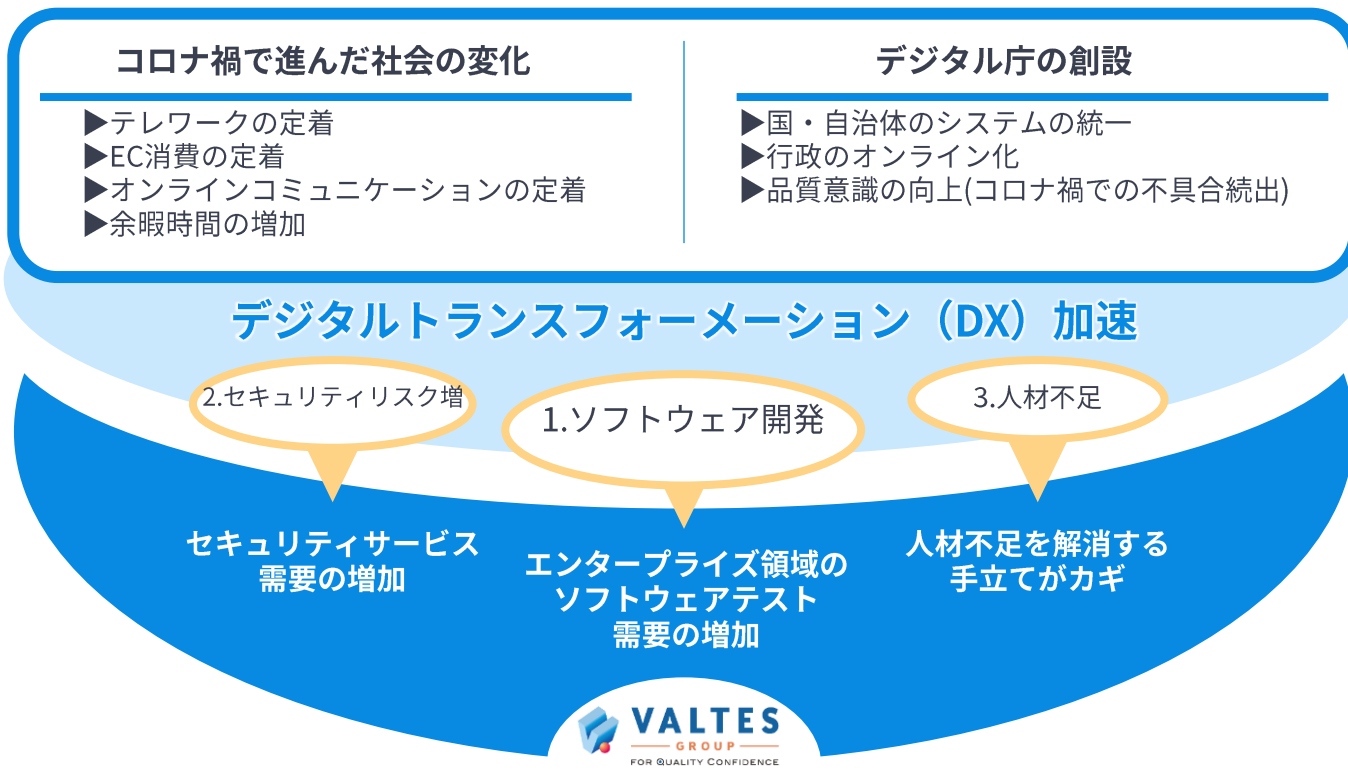
(単位：百万円)



# ソフトウェア事業環境と 当社の優位性



## 「デジタル庁の創設」や「コロナ禍で進んだ社会の変化」により、DXが加速





## ソフトウェア開発企業の悩み

- ・コスト高な開発エンジニアの労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- ・テスト・検証は開発者のモチベーションが上がらない為、非効率
- ・開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

## テスト工程がアウトソースされなかった理由

- ・大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注。  
その開発エンジニアがテスト工程まで行う構造で

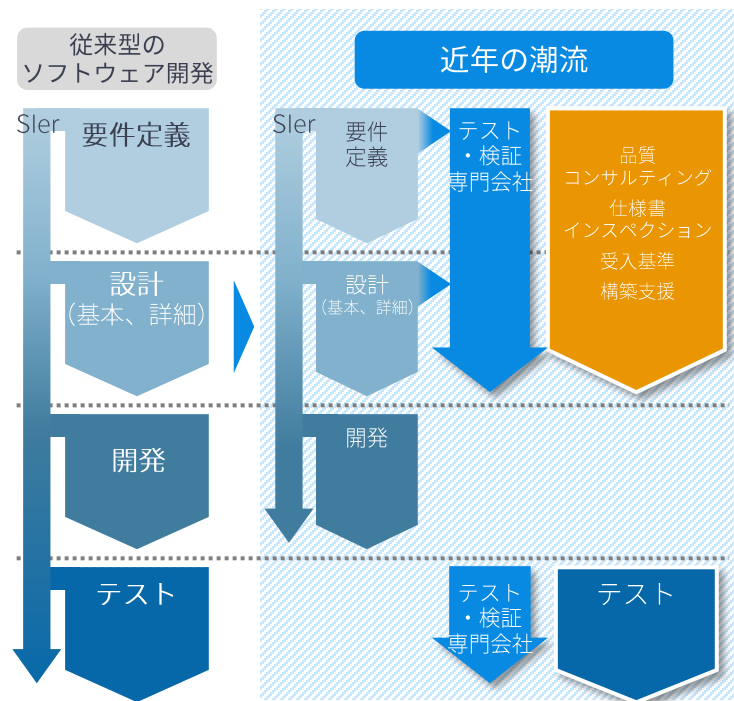


## テスト工程のアウトソース化が加速！

- ・開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少  
(開発担当者がテストを実施する場合の※**60%~70%程度**で対応が可能)  
※当社調べ
- ・再現性・共有性の高いテストの方法論が確立 (各社独自のメソッド)  
することで**網羅的で高効率**なテストが実現可能に
- ・第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

## ソフトウェアテストは 開発企業から**テスト専門企業**へ

### ソフトウェア開発の業務フローの変遷



## 重点領域である**エンタープライズ領域**が堅調に成長

### 市場環境

#### デジタルトランスフォーメーション（DX）進展



- ①長期使用による基幹システムの老朽化
- ②大容量高速通信時代の到来

マイグレーションの負担増→コスト懸念・品質懸念

**ソフトウェアテスト依頼の増加へ**





### 特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- テスト以外の知識(開発、業務知識)を求められる  
→難易度 **高**

エンタープライズ専門部署を  
2020年4月から設立、組織拡大中



### 当社の優位性

- 経験豊富な**ハイレイヤー**の採用 
- 本領域に強い人材を供給可能な  
**外部協力会社との取引拡大** 
- 長年蓄積された質、量ともに豊富な  
**当社のテストノウハウ** 
- テストノウハウをプログラム化した  
体系的・実践的な研修を**全員が受講** 
- 上流工程**からの品質支援ニーズに対応

## 周辺市場のテスト工程における比較表

当社の事業領域

		潜在市場規模	市場ステージ	参入障壁
テ ス ト 工 程 市 場	エンタープライズ系	巨大	黎明期	高い
	組込み系	大	黎明期	高い
	Web・スマホ系	中	成長期	中
	エンターテインメント系	小	成熟期	低い

# 2022年3月期 第2四半期決算補足



	2021FY 2Q		2022FY 2Q			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	2,413	100.0	<b>3,005</b>	100.0	+592	+24.5%
売上原価	1,794	74.3	<b>2,317</b>	77.1	+523	+29.2%
労務費	1,246	51.6	<b>1,549</b>	51.5	+303	+24.3%
外注費	468	19.4	<b>642</b>	21.4	+174	+37.3%
その他	79	3.3	<b>125</b>	4.2	+45	+57.6%
販管費	483	20.0	<b>640</b>	21.3	+157	+32.6%
人件費	222	9.2	<b>270</b>	9.0	+48	+21.7%
採用費	78	3.2	<b>103</b>	3.4	+25	+32.3%
研究開発費	26	1.1	<b>50</b>	1.7	+23	+87.4%
その他	155	6.4	<b>216</b>	7.2	+60	+39.0%

	2021FY	2022FY 2Q	前期末差
<b>資産の部</b>			
現金及び預金	1,190	<b>1,174</b>	▲16
売掛金+契約資産	727	<b>746</b>	+19
流動資産合計	2,019	<b>2,002</b>	▲16
有形固定資産	101	<b>99</b>	▲1
のれん	68	<b>66</b>	▲2
ソフト+ソフト仮	133	<b>128</b>	▲5
無形固定資産合計	202	<b>195</b>	▲7
投資その他の資産	218	<b>231</b>	+13
固定資産合計	522	<b>526</b>	+4
<b>資産合計</b>	2,541	<b>2,529</b>	▲11

	2021FY	2022FY 2Q	前期末差
<b>負債の部</b>			
買掛金	115	<b>132</b>	+16
短期有利子負債	146	<b>146</b>	-
未払金	339	<b>361</b>	+21
流動負債合計	958	<b>921</b>	▲37
長期有利子負債	76	<b>65</b>	▲10
固定負債合計	84	<b>70</b>	▲13
<b>負債合計</b>	1,042	<b>992</b>	▲50
<b>純資産の部</b>			
株主資本合計	1,494	<b>1,536</b>	+41
<b>純資産合計</b>	1,498	<b>1,537</b>	+38
<b>負債純資産合計</b>	2,541	<b>2,529</b>	▲11

# 会社概要



## 「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス株式会社
会社設立	2004年4月
上場	2019年5月（東証マザーズ 証券コード：4442）
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15（大阪本社）
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子会社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従業員数	716名（2021年9月末 グループ4社計）
内、総エンジニア数	628名（2021年9月末 グループ4社計）
総資産	2,529百万円（2021年9月末 グループ4社連結）

### 企業理念

私たちは品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献します。

私たちはICT社会に貢献する人材を育成します。

私たちは多くの価値を創り、お客様と共に喜びを分かち合います。



## 社名の由来

Value created through **Testing** 

「テストを通じて価値を創造する会社」という意味が込められています。

## グループスローガン

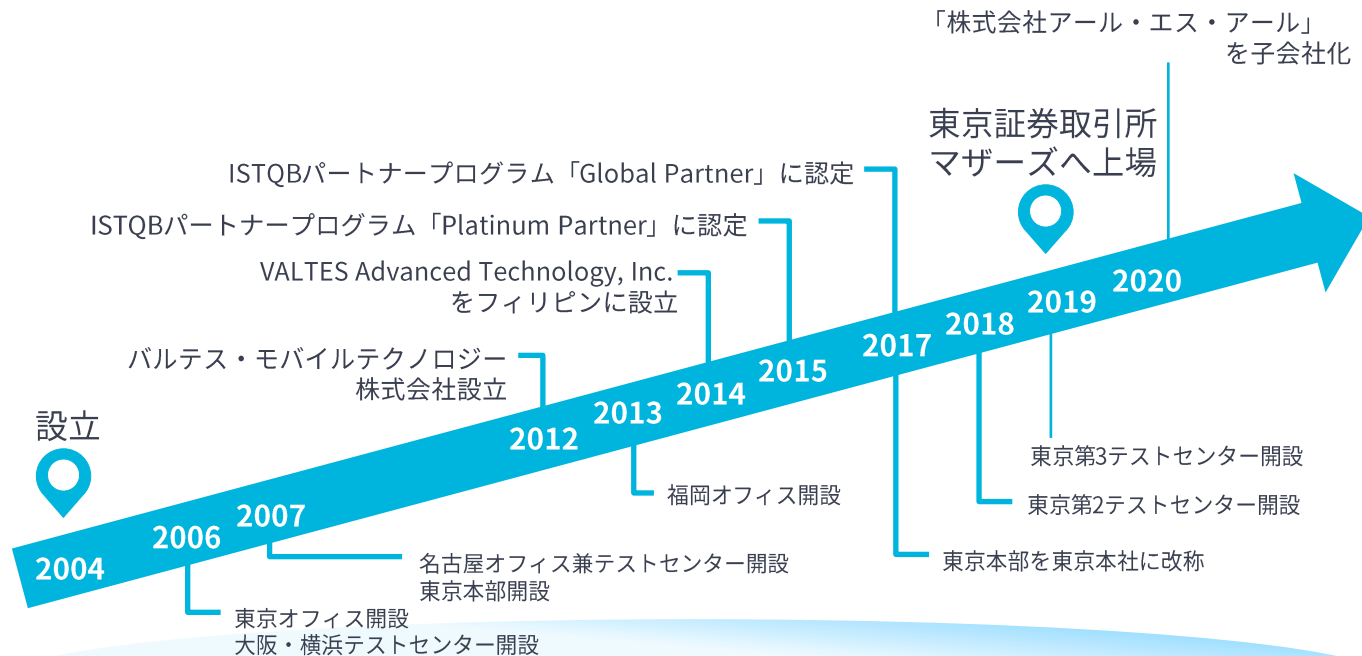
**VALTES**

FOR QUALITY CONFIDENCE

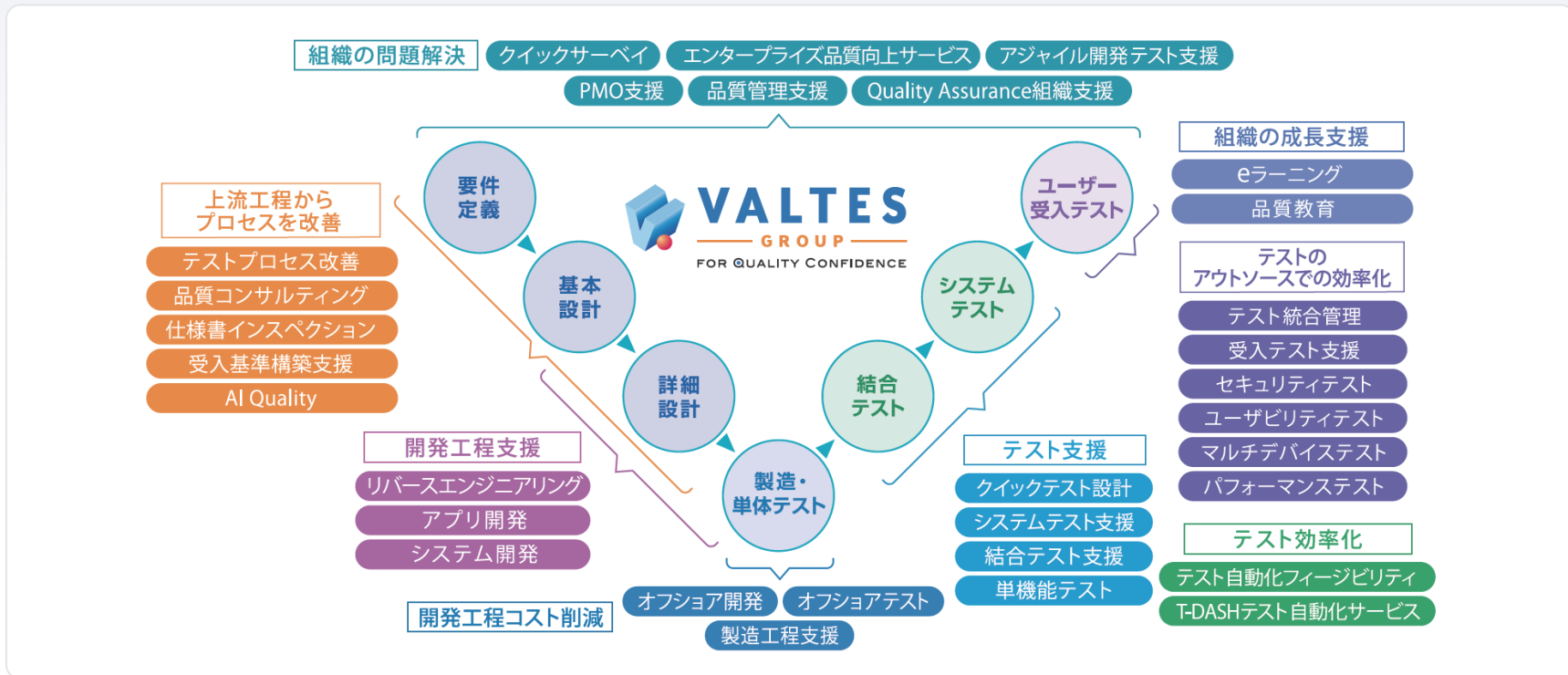
VALTES for Quality Confidence に込めた思い

「お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにしたい」  
技術を磨き続け、品質向上に貢献し、より良い製品で社会を豊かにする。  
バルテスグループは、ソフトウェア品質のさらなる高みを目指し続けます。

2004年4月、設立。ソフトウェアの品質に関わるサービスを提供。  
 ソフトウェアテスト専門会社として、**年間2,100件以上**のプロジェクト実績を誇る



## ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供



## 高スキル エンジニア

- ▶ エンジニア適正試験
  - ▶ 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
  - ▶ JSTQB※1保有率 92%以上！（入社2年目以降の正社員）
  - ▶ ISTQB※2 Global Partner
- ※全世界10社のみ、**日本初！**

## 豊富な実績

- ▶ 年間2,100プロジェクト、600社以上の導入実績
- ▶ 業種毎の豊富なテスト観点

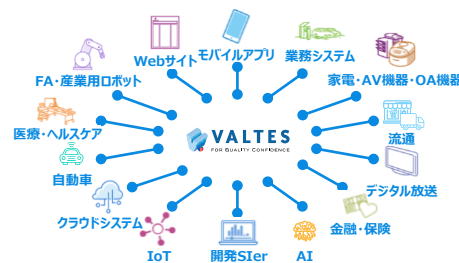
## 標準化・ プロセス

- ▶ IEEE※3829※4準拠テンプレート
- ▶ QUINTEE※5（テストの進行基準）
- ▶ 標準化されたテスト設計手法による  
抜け漏れ・誤認識を排除

※1：JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと  
 ※2：ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130か国のテスト技術者認定組織のこと  
 ※3：IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) とは、米国に本部を置く、電気・情報工学分野の学術研究団体、学会、技術標準化機関のこと  
 ※4：IEEE829とは、テスト工程で作成するドキュメントの定義のこと  
 ※5：QUINTEEとは、当社がソフトウェアテストを主軸に、品質向上・生産性向上に関連する知見を体系化したもの



日本で初のグローバルパートナー



フロー	テスト計画	テスト設計	テスト実施	テスト退出
経路	テストの目的・範囲を決定し、テストのシナリオを策定	テストシナリオテスト技法で効率的なテストを実施	単機能、複合機能、シナリオを実施し、日々最小単位	テスト結果を数値で可視化する。次期開発に活かす情報を抽出
	※1※2	※3※4		※5※6
	テスト計画書	テスト実施管理、テスト設計	テストケース	テストレポート
成果物	WBS 機能一覧	テスト仕様 テストシナリオ テスト手帳 ※3※4	テストシナリオシート テストログ ※5※6	
	※7※8	※9※10 ・マイクログランに準拠した テスト設計シナリオ ・テストシナリオシナリオ設計全体を構築		

## 働きやすい環境の整備

**5** ジェンダー平等を  
実現しよう

**8** 働きがいも  
経済成長も

**10** 人や国の不平等  
をなくそう

- 男性育休制度導入
- 働き方改革
- ホワイト企業認定
- 必要に応じて、抗原検査キットやPCR検査を従業員に無償提供
- パートナーシップ制度の導入

【社員インタビュー】男性社員の育休取得実態



▲育休実績のある男性社員のインタビュー記事を、社内でも積極的に展開し、取得を推奨



▲オンライン懇親会制度などを設けて在宅勤務社員のフォローも実施

## IT人材の創出

**4** 質の高い教育を  
みんなに

- 充実した社内研修システム
- 当社のソフトウェアテストノウハウを生かした資格支援サービスの提供
- ソフトウェアテストに関する技術書籍の出版
- ソフトウェア品質向上プラットフォーム『Qbook』の運営
- テスト技術をゼロから学べる無料eラーニングコンテンツの公開



▲未経験者は2カ月、経験者でも1カ月の入社時研修を実施

## 技術革新の拡大を図る

**9** 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう

- 京都工芸繊維大学との共同研究論文を発表
- ソフトウェア製品の品質確保のために世界中の企業とパートナーを組むことで目標達成を実現

## 安心・安全なまちづくり

**11** 住み続けられる  
まちづくりを

- ソフトウェア製品のテストを実施し品質を確保することで、安心・安全なICT社会を実現

## ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに  
当社が計画・予想したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があり、  
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。  
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。



